

市民の皆さんには、日頃よりごみ減量にご協力いただいているところですが、市では、更なるごみ減量を目指して平成21年度から「ごみ減量チャレンジ・モニター制度」を開始しました。
この制度は、公募による市民の皆さんが、ごみ減量の取り組みの拡大に向けて活動するものです。



今年度のテーマは...
「エコキッズ育て隊(たい)」

～ものを大切にする気持ちを子ども達に「伝えたい」「教えたい」「育てたい」～
そんな思いをかたちにするために、11名のチャレンジ・モニターの皆さんが活動しています。



チャレンジ・モニターの皆さんの声

自分にもできるごみ減量方法が学べたらいいな

昨年の活動に参加していたお友達が楽しかったと勧めてくれたので

身近なことからごみ減量への関心が高められたらと思います

Q:応募の動機は?

ものが捨てられないのが悩みで減らす工夫がしたい。親子で勉強したいです

大勢の人の中に入れてみる経験をしてみたい

子育てしながら、地域の取り組みに参加できたらいいなと思いました

子ども達に「ものは大切にしなあかん」と言っていますが、自分自身が実践できていないような気がしています。具体的にどうしたらいいのかわりたくて応募しました

応募を機に、孫達の為にも、ものを大事にする気持ちを広めたい

平成22年度 ごみ減量チャレンジ・モニター企画

ごみ減量&リサイクル 3R体験イベント **キッズ「り・ぼ・ん」**とは

小学生の子ども(出店者)が、自分が大切にしていたものを欲しい子どもに譲ってあげるといふ、子ども同士で交渉を体験する催しです。
参加者は、お金の代わりに、クイズやワークショップをして得たポイントと出品展示している品物を交換します。

出店者の感想

- ★物のたいせつさが分かった気がします。(小3)
- ★人見知りなので、お客さんと話すだけでも、たいへんでした。でも、こうやって着れなくなったものや使わなくなったものをゆずりあっていたらむだにならないので、いいなと思いました。(小3)
- ★これからも、エコをしようと思った。きもののたたみ方がわかってよかった。おもったより買ってもらえたり、人がいっぱいきてくれた。(小4)

ワークショップ

■きものでエコ



■ごみくんパネル



■アイデア標語



平成23年3月6日(日)国崎クリーンセンター啓発施設「ゆめほたる」にて、出店者や参加者を併せて100名程の方に参加いただき、賑やかに開催しました。
ここでは、ワークショップの様子などを紹介します。